



8月19日・小倉競馬場 初勝利のウイナーズサークルで

「調教で左手 Lansbury 上がって来て、スピードも見せて貰つてもらいました。順調に仕上がりましたね。体型や走った感じから短距離向きの印象を受けたので、小倉の坂への出走で斤量を考慮する事になつてしまつた」

その一戦は、田口の「Lansbury」戦では一番人気と支持されたアーバンハイバー。結果は3着でした。

「スタートで出遅れてしまい、最後方からのレース。それでも行き脚がついて上がりに行き、直線は内からじかに脚を使つて、

初勝利後は小倉2歳ステークスへの参戦も考えられていましたが、左前脚深大穿孔に骨瘤が見られたため放牧。私が9月に栗東へ行った時、ファストアズベリーは牧浦厩舎には不在でしたが、担当の齋藤卓也持ち乗り調教助手に普段の様子などを伺いました。

「調教では手応えよく上がってきて、スピードを見せて貰おうとした。順調だと仕上がりましたね。体型や走った感じから短距離向きの印象を受けたので、小倉のレースでトーナーかの事になつた」と思ふ。その後の育成も順調でした。今年の四月中旬は栗東トレセンへ入厩。ゲーム試験も早々に受かり、素質の良さを見せつけられました。

「今回も出遅れ気味のペターードでした  
が、新馬戦の時より折り合つてから  
ましたね。徐々にポジションを上げて直  
線で追われてからはじきかり伸びてくれ  
ました。手綱を取ったアーバン騎手もわ  
『まだ競馬を覚える段階』『ただ走る  
のではなく、潜在能力は高いですね』といふ和  
うやくねましたよ」

フアストアズエバーを管理する牧場充徳調教師は半姉のジャストガマシン(4歳)も手掛けます。

「そのよりない縁もあり、管理させて頂く事になりました。フアストアズエバーを初めて見たのは、この馬が一歳の夏頃。ジャストガマシン(200キロ)で「ヒョー」としたように雄大な馬ですが、フアストアズエバーはぐわんとした感じで「ハーパー」といよいよほつた印象の馬体。父がスカイエブリオーナー、マーティンに委ね、「スピーデー」がおっしゃったボートレーシング場で、スカイエブリオーナーは

「伸びました。動きた時に動かして、それが緊じたと思います。それと、氣の張ったタイプなので走っている時に頭が高くなっているのがありました。初心のレーベル黒坂辰を遣り、パンシップでも通用用を販売していました面もありましたね。2戦目はまた変わっちゃねだらしく期待を抱かせる内容だったと思います。力を出し切らなければいけない戦いでした」

て頑張ります」  
牧浦調教師は「アストラーデズ  
妹の1歳馬(グリーンフード賞  
集馬)も管理する予定となつて  
手腕に注目が集まつたのです。  
(取材日：9月12日、10月15日)

「うう短い距離で走るの走るの感  
じからはハーフ位なり伸びても大丈夫  
でしょ。徐々に距離を伸ばしながら桜  
花賞を目指していかなければ。調  
教の動きからダートも走れそうなので、  
将来的には色々選択肢がありそうです。  
この田舎では走り出す地があつ、持つてこよ  
テ、シンヤルが高くてですね。馬体もまだまだ  
良くなつていいくと思いますよ。つづき  
路線に乗せられゆくへ厩舎一丸となつ

歲馬にしては少々かづらうかわす  
その後、骨強は順調に回復し、10月6日  
に帰厩。3戦目は10月21日、東京競馬  
場の重賞予定となつて走る。牧浦  
調教師にこの馬が持つ可能性や今後の  
目標などについて伺つた。  
「走つて前向きでハーネスが合わない事が  
長所ですね。レースではまだ調査(?)したよ  
うな走りをあらねえのがあるので、普段の  
調教でハミをしっかり取られた方がいいです。  
して走れるよう調整しておきます。本質的

# 小島友実の あの馬の **STORY**



## ファストアズエバー

「トニー」一戦田しなった8月19日の小倉戦で、一番人気で応えて快勝したノーストアズエバー。祖母はかつてグリーンフームーの所属し、勝を挙げた活躍をしたファーストアズライトですから、孫のファーストアズエバーに期待している方も多いのではないか。

と伸びました。動きた時に動かして、それがいつかただと感じます。それから、気が良いうちなので走つてくる時に頭が高くなれないのがおこりました。初めのレーベル馬を遣り、ペナントでも通用を気にしていた面もありましたね。戦田はまだ変わらへれぬだらうと期待を

「初戦のパニックで落ち着かない仕草を見せていましたように、調教でも物見をしたりと少し怖がりの面があります。でも馬房では大人しく可愛らしく馬ですよ。440キロ位の馬なので飼葉食いを中心配しましたが、わざと食べて貰うので手がかりません。乗った感じもこの時期の2

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜19:00~20:30)、ラジオNIKKI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。

## profile

て頑張り出す」  
牧浦調教師は「アストラーズエバーの全  
妹の1歳馬(グリーンファーム愛馬会の募  
集馬)も管理する予定となっており、その